

# 自立活動だより



紀北支援学校自立活動部  
令和5年9月発行

## 愛徳分教室の取組を紹介します。

愛徳分教室は、愛徳医療福祉センター内にあります。小学部児童6名、中学部生徒1名が在籍し（9月1日現在）学習内容や課題に応じて「個別や課題別」「クラス」「全体」での活動に取り組んでいます。また、子供たちはそれぞれの実情に応じて、当施設内の病棟または支援棟で生活し、睡眠や食事・体調の管理等、様々な面からの支援を受けながら過ごしています。分教室では、関係する他職種の方々との連携を取りながら、児童・生徒の様子を把握し、将来の自立に向けた取り組みを行っています。

### 【関係職員との連携】

子供たちは毎日個々のプログラムに応じて、OT（作業療法士）ST（言語聴覚士）PT（理学療法士）によるリハビリを行った後、担当者と登校し、各担任と引き継ぎを行っています。専門的な立場から助言をいただくことで、子供へのアプローチや教材の工夫など、ヒントをもらっています。

#### 助言内容（例）

小学部 Aくんは座位姿勢の際、徐々に姿勢が斜めに傾いてしまう傾向が見られます。肘つき椅子（左右にクッションを挟む）を使用すべきか相談したところ、「補助部分を活用して、姿勢の調整が自分で楽にできるように支援したらどうか」との助言を受けました。



### 【自立活動実践例】

小学部1年生 女子 Bさん

自立活動指導目標

- ・生活リズムを整え、学校生活に慣れる。
- ・身体の緊張をほぐし、様々な活動に参加する。
- ・学校生活で好きなことをみつける。

今年4月に入学したBさんについて【2心理的な安定-②状況の理解と変化への対応に関すること】【5身体の動き-①姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること】を中心に取り組んでいる内容の一部を報告します。

1年生ということもあり、初めて経験する活動がたくさんあります。「何をやるのだろう？」と不安になると、力が入りやすくなりますが、何度も繰り返すうちに「おもしろいな」「もう1回やりたい」と声を出したり笑顔を見せる様子が見えてきました。「好きなことをみつける→緊張が緩み活動を楽しめる→日中の覚醒につながる」という流れを目標に取り組んでいます。友達の活動を見ることで見通しを持ちやすくなることから、個別学習だけでなく、体育や課題別学習などにも、Bさんの指導目標達成を目指し「時間の指導」として系統的に実施しています。



（左）SRC-Walkerに乗った直後（右）10分後身体の内側に力が入りやすく、特に左足が上記のように上がってしまいがちなため、SRC-Walkerを活用し、音楽を聞いたり好きな楽器の音を鳴らしながらリラックスすることで身体を整えることを目指しています。



#### 「綿遊び」

昨年収穫した綿のふわふわした感触を味わっています。手がしっかり伸びています。



#### 「田植え」

水→お湯→土に触れる活動から段階的に発展し、泥を触りながら稲を植えました。友達と一緒に目一杯楽しむことができました。